

1. 発見日時	令和7年(2025年)8月25日(月)9:00
2. 発生海域名	函館市 函館漁港
3. 発生状況 (規模、形状等)	漁港内の一部 水色：くらいき
4. 優占種	<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ) : 1,600 細胞/mL <i>Margalefidinium</i> (旧属名: <i>Cochlodinium</i> ) <i>polykrikoides</i> (マーガレフィディニウム (旧属名: コクロディニウム)・ポリクリコイデス) : 60 細胞/mL
5. その他	表面水温 : 25.3°C 着色の主体である <i>Karenia mikimotoi</i> は、魚介類のへい死を直接引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンであり、北海道でも漁業被害の記録がある。現在函館湾における厳重注意(他県警報相当)基準である貝類 50 細胞/mL、魚類 500 細胞/mL を上回っている。被害軽減策として赤潮発生海域の海水を用いた蓄養等を避け、養殖魚には着色状況に応じて餌止めを行うなどの対応が重要である。 なお、 <i>Margalefidinium</i> (旧属名: <i>Cochlodinium</i> ) <i>polykrikoides</i> は同じく魚類のへい死を直接引き起こす有害な赤潮プランクトンであり、数百から千細胞/mL の密度になると、養殖魚類がへい死するなどの被害を引き起こす。北海道では出現記録はあるが、赤潮・漁業被害ともに未報告である。

6. 参考図



図1 赤潮発生場所の位置

地理院地図(国土地理院) <https://maps.gsi.go.jp/>を基に道総研作成



図2 優占種 (*Karenia mikimotoi*)